

TOTAL-Tが教える  
**HOW TO AIR BRUSH**  
AIR BRUSHをはじめよう! -2003- **VOL.03**



えあぶらじ

明けても暮れても

日々研究

はじめに・・・

## 夢の“AIRBRUSHのHOW TO本” VOL.03

TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.01 は去年の暮に発行され、Vol.02 が1月の末に発行、今回は2月末に発行の Vol.03（第3号）です。

おかげさまで日本全国の各地からこの本の購読申込があり、予約の部数を合わせればやがて1000部を超えるというような勢いです。

最初は、「本でも出すか！」といった軽い気持ちで作った、“AIRBRUSHのHOW TO本”ですが、こんなに反響があるとは正直思っていませんでした。

最近は皆さんからのプレッシャーを感じながら、この本作りに励んでいるところです。

私と一緒に AIRBRUSH を学ぶ本、考える本、楽しむ本として、毎月月末に発行する手作りの本。

みなさんも私自身も、この本のおかげで毎月少しずつ成長しているのではないかと考えています。

今年の年末発行予定の Vol.12 で、ひとくくりとする予定ですが、まだ前半の3冊目。

エンジンがかかって勢いついた人もいれば、本を読むのをやめようか？という人もいるかも・・・(笑)

よく考えてみると、このへんが分かれ道なのかもしれません。

あなたはどちらの道を歩みますか？

障害が出てくるかもしれませんが、この本を購読している日本全国の AIRBRUSH 仲間がいれば、なんとかなると思います。

みんなで一緒に楽しみながらゴールに向かって歩いていきましょう！

TOTAL-T 竹島敏也



感謝・・・

私のことを最初から信用していただいて、まとめて購読申し込みをしてくださった方、とりあえず1冊を購読してみて良かったから購読を続けられる方、この本を見て道具等を注文してくれた方など、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです！

皆様の期待にそえられるように今後も努力していきますのでよろしくお願いいたします。



## もくじ

はじめに・・・	1
もくじ	2
まずはいっぷく・・・	3
第1章 ひと言のコーナー	4
「もっと努力をしろっ！研究をしろっ！」	4
第2章 換気について・・・	5
AIRBRUSH は塗料の霧が舞う！	5
第3章 読者からの質問コーナー	7
AIR ホースの結合	7
第4章 絵を描いてみよう！	10
空の雲を描いてみる・・・。	10
第5章 実験のコーナー	11
AIR BRUSH に向けた塗料・・・	11
常に研究心！	11
いざ！実験を試してみる・・・	12
第6章 実験のコーナー2	15
クリアーコートの実験を試してみました。	15
第7章 お勉強のコーナー	17
色のお勉強をしましょう！	17
第8章 知ってもソソしないコラム	19
完全フリーハンドで描いている AIRBRUSH ペインターは意外に少ない	19
弟子の独り言・・・	20
この本と共に勉強していきたい方のための道具選び	21
ビデオ CD&オマケについて・・・	22
編集後記	23

## まずはいっぴく…

いつものように、まずはいっぴくしましょう！  
コーヒーでも飲みながら、ゆっくり、じっくりと進んでいきましょう！

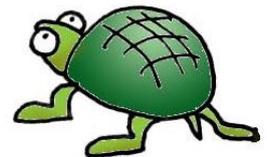


挿絵/ Shigeru Yamamoto

最近私が思うこと、感じていることなのですが・・・  
なぜか、皆さんあせっているというような感じがしてなりません。  
あせるとよくないです！と前の号でも言ったはず・・・

ひとつひとつ確実に進めていき、最終的には花を飾る！  
というようなコンセプトが実はこの本に隠れているんです。

あせる気持ちはわかるのですが、素直な気持ちでこの本を読んでいってください！  
生まれたての赤ちゃんは何も知らないところから始まります。  
あなたも生まれたての赤ちゃんのような気持ちでこの本と一緒に進んでいって下さい。  
あせってもよくありません！一歩一歩確実に進んだほうが絶対いいと思います！



## 第1章 ひと言のコーナー

### 「もっと努力をしろっ！研究をしろっ！」

今回のひと言は、皆さんに対してちょっときつい言い方になるかもしれませんが、私からのカツとして受け止めて下さい！

この本を読んでいる皆さんのほとんどが、AIRBRUSH をやりたい！うまくなりたいたい！という気持ちを持っている方だと思っています。

この本が出る以前から AIRBRUSH の道具を持っていて、やってみたのだが、どうもうましくない！だから、知っている人から習ったほうが早い！聞いたほうが早い！と思ってこの本を求めた方も少なくないとも思っています。

私は、そんな人が世の中にはたくさんいる！誰も教えないから私が教える！という気持ちでこの本を出したということもあるので、本を買って勉強してくれている人に対してこんなことを口走るのは矛盾していることなのかもしれませんが、言わせてもらいます！「もっと努力をしろっ！研究をしろっ！」と・・・。

私は AIRBRUSH をやるにあたって、お世話になっている人はたくさんいます。

お世話になっている人はたくさんいても、AIRBRUSH の詳しいことを教えてくれる人は誰もおらず、今までずっと、今でもずっと、独学で楽しみながら、勉強を続けているところです。

出来る人の真似をする、出来る人から教えてもらうことは決して悪いことではないと思うのですが、もし、上を目指そうとするのであれば、真似することや、教えてもらうだけでは不足と考えています。

自分で切り開いていこうとする力も必要だと思うのです。

絵の世界で例えたなら、ラッセンと同じ絵もしくは真似した絵をきれいに描けたとしても、それは決してラッセンには勝っていない！勝てない！ということをお願いしたいのです。

日々、努力、研究をして、自分の個性や感性を活かした自分のやり方で絵を描いていってこそ、はじめてラッセンに勝負をかけられるのだと思うのです。

最近、読者の皆さんから質問が毎日のように来るようになりました。

「どこのメーカーのどんな色を使っているのですか？」「AIR 圧力は何キロがいいのですか？」といった質問に対し、私自身、少し疑問を持つようになってきました。

本の中で伝えているのに、わかってもらえてないなあー、ちゃんと読んでくれているのかなあー・・・と。

皆さんから頼られるということはすごくうれしいこと、しかし、何でも頼れば済む！と思わずに、少しは自力でがんばってみてほしい！という願いみたいなものが出てきたのです。

努力や研究をするからこそ、自分の身になっていくのです！人に頼っているだけでは成長はないと思うのです！

上を目指すのであれば、なおさら努力や研究は惜しみなくしなければいけない！と思うのです。

努力や研究を惜しみなく進められたなら、もっとうまくなるし、もっと楽しくなるのです！

皆さん！人に頼るのもひとつの方法ですが、自力で進めていくのも楽しいものですよ！全部自力でとは言いません！どうしてもわからなければ、そのことをお伝え下さい！私でよければ後押しいたしますから・・・。

## 第2章 換気について…

### AIRBRUSHは塗料の霧が舞う！

※  [ビデオ CD 参照](#)

AIRBRUSH 空気の筆。

スプレーで絵を描くこと、塗ることが私流の AIRBRUSH  
と前に説明しました。

スプレーからは霧状の塗料が噴出され、対象のものに付着していくわけですが、霧のすべてが付着するわけではなく、ほとんどは空中に散ってしまいます。それを MIST(霧)と呼んだりしていますが、けっして綺麗なものではありません！その空中に飛散した MIST は塗料の粒でしかないのです。

AIRBRUSH ハンドピースの先から噴出された塗料の粒は非常に細かい霧状のもので、ほとんどが空中に飛散してしまいます。また、スプレーから出た MIST だけでなく、シンナーなどは蒸発して空中に成分が舞います。知らず知らずにしてあなたは吸ってしまっているのです！



あなたは平気で塗料を口に出来ますか？  
出来ませんよね！

塗料の成分の中には体に有害なものが多く含まれています。

**気をつけなければいけません！**  
**対策をしなければいけません！**

その対策として考えられるのが換気やマスクの着用等です。



空気の流れを考えて換気をしたり、マスクを着用して体内に入らないように対策をして下さい！

それを怠ると・・・想像できますよね！

健康が第一！あなたが不健康だと、まわりの人にも大変迷惑をかけてしまいます。

そんなことにも気をくばりながら AIRBRUSH をやっていきましょう！

## 第3章 読者からの質問コーナー

### AIRホースの結合

※ ビデオ CD  1  2 参照

読者から AIR ホースの結合方法について質問が寄せられましたのでお答えいたします！

**まず、皆さんに言っておきたいことがあります！**

AIR ホースのサイズや結合金具の種類は様々です。  
AIR 工具関係では 1/4 が多いですが、AIRBRUSH  
関係となってくると 1/8 が多く使われています。  
一般的には、1/4 のことを 1 分(いちぶ)と呼び、  
1/8 のことを 2 分(にぶ)と呼びます。

AIRBRUSH メーカー等では 1/4 のことを L、1/8  
のことを S と表すことが多いです。



下の表を参考にしてください。〈配管ネジの寸法〉

1/8	1 分	9.728 mm	AIRBRUSH メーカー等では S と表すことが多い。
1/4	2 分	13.157 mm	AIRBRUSH メーカー等では L と表すことが多い。
3/8	3 分	16.662 mm	
1/2	4 分	20.955 mm	

※管ネジの寸法は、通常のインチサイズとは異なります。

読者からの質問は「大工さんが使っているようなコンプレッサーがあるのだが、どうやって接続していけばいいのかわからない」とか「大きめのコンプレッサーが工場にあるのだが、どうやればいい？」といったような質問でした。

結局、違ったサイズのことをどうやって接続していくか？という質問と私は解釈しました！

答えは簡単！ 市販されている接続金具をうまく利用すればいいだけです。

私はホームセンターへちょくちょく行くのですが、思ったものが置いてないこともしばしばあります。(1/8 サイズの種類が少ないです。)

当ホームページT00Lコーナーに私がよく使う接続用金具を紹介しますので、参考にしてください。ほしいものがあればご注文下されば結構ですが、ホームセンター等で買ったほうが安いという場合もありますので、そのことはあらかじめご了承ください。

## 接続例を写真で説明しますので参考にしてください！



少し大きめのコンプレッサーのホース接続部分は通常こんなふうになっているのものが多く、カフソケットにカフプラグがワンタッチで抜き差しできるようになっています。サイズ的には 1/4 サイズが多いです。

## ハンドピースまでうまくもっていくにはどうすればいいの？

AIR BRUSH 用となるとサイズは 1/8 となってくることが多いので、そのようにサイズを変換しなければいけません。

今回は 1/4 から 1/8 にサイズを変換するために下の写真のような接続金具 4 種類を使用しました。

元は 1/4 のカフソケット、ハンドピースとの接続サイズは 1/8 ということを前提としています。



### カプラプラグ

写真は 1/4 オスネジ取付用です。



### カプラプラグ

写真は 1/4 メスネジ取付用です。

一般的に、ネジがテーパになっているものが多いです。



### S-L ジョイントネジ

一方が 1/8 オスネジ、もう一方が 1/4 オスネジ、となっている異径ジョイント金具です。



### S-L チェンジネジ

一方が 1/4 オスネジ、もう一方が 1/8 メスネジとなっている異径チェンジ金具です。

※ 各接続金具の名称はメーカー等によって異なりますのでご了承下さい。

## 方法その1



私は今まで、このような接続方法で、手元の L-S ホースに接続をしていました。



カフプラグ 1/4 メスネジ取付用 1 個があれば L-S ホースにもって付けるのですが、多少ネジのかみ合いが悪く、読者の方からエア漏れしたとご報告があったので別の方法(方法その2)を考えました。

次ページにつづく

## 方法その2

少ないコストでもっとよい組み合わせがないかと考えてみたところ、下のような組み合わせを考えることができました。

下の写真は、カフラフラグ 1/4 オスネジ取付用と S-L ジョイントネジを使用しています。



しかし、これは S-S ホースへの接続であって、S-L ホースへの接続ではありません。

## 方法その3

上の接続金具に S-L チェンジネジをプラスすることで、S-L ホースへの接続が可能となり、**方法その1**のようなエア漏れの心配も少なくなりました。



## AIR レギュレーターを間に入れる・・・

接続ネジが両側 1/8 の AIR レギュレーターを間に入れる場合、下写真のようにすれば、使い勝手も良くなるのではないのでしょうか？



他にも様々な接続方法が考えられると思いますが、工夫次第でどうでもなる！と私は思っています。各メーカーから出ているものをいろいろ試してみるのも勉強だと思います。そうやって工夫、研究をして自分のものにしていくのも結構楽しいですよ！

人（TOTAL-T 等）の言うことをうのみにせず、あなた自身で自分に合ったものを探し出したり、工夫をしていけば、きっと身になっていくと思います！世の中にはいろんなものがあると思うので、それをうまく見つけて、うまく利用していきましょう！（PS：いいものがあったら私にも教えて下さいねっ！）

## 第4章 絵を描いてみよう！

### 空の雲を描いてみる…。

今回は空の雲をイメージして描いてみました。

※ [ビデオ CD](#) [1](#) [2](#) [参照](#)

私は実は絵がヘタクソです！（えっ！？と思う人もいるかと思いますが・・・本当です！）

ヘタクソだから上手く描けるように日々研究をしています。

AIRBRUSH をやるようになってから絵というものに興味が出始め、そのうち、目に入ってくるもののすべてが絵の対象物として考えるようになってきました。

絵の仕事が入ってきて、その絵の研究から始まるといった具合です。

研究することによって、そのものの事がだんだんと理解できてきます。

すなわち、絵にしていく時もスムーズに描いていけるということなのです。

また、いろんな絵を描くたびに、その絵のことに対して詳しくなっています。

いろんな絵をどんどん描いていき、その絵の特徴を勉強していけば、いつかは元絵がそばになくとも自分のイメージする素敵な絵が描けるようになっていく！と信じて、私はいろんな絵にトライしていると思っています。

最初から絵が上手な人はいません。

まずは、絵を楽しむことから始めれば良いと思います。



## 第5章 実験のコーナー

### AIR BRUSH に向けた塗料・・・

皆さんから「AIRBRUSH に使う塗料は何がいいのですか？」という質問がよくあります。

そのたびに「私は用途や目的に応じて使い分けています。研究が大切です！」と答えているのですが、いまだにその質問は多いです。

Vol.01 でも Vol.02 でも触れているように「AIRBRUSH をする時は絶対これがいい！」という塗料は無いのです。目的によってハンドピースやスプレーガンを使い分けるように、塗料も使い分けるのが私流！なのです。

この世にはいろんな塗料メーカーがあり、種類も様々！その中で自分の目的に合った塗料を探し出すのも、私はひとつの楽しみとしています。

自動車には歴史があって発展もあるように、塗料にも歴史があり、発展もあるわけで、永遠にゴールはないのではないかと考えています。

何にしても、これしかない！と決めつけたとしたなら、その後の発展はないと思うのです。

### 常に研究心！

私は AIRBRUSH の实际で、常に不満というか疑問を持ちながらやっています。

ハンドピースや塗料、他に關しても、もっとこんなのだったらいいのに・・・とか、他にいいものはないのか？・・・とか常に研究心や興味を持ってやっています。というかそんな性格なんです（笑）。

とにかく、私は自分なりに研究しながらやっているわけで、皆さんにもこの研究心というものを持ってやってほしいという願ひがあるのです。

与えられたものをただ使うだけでなく、自分にあつたものを探し出す！自分のものに変える！といった気持ちが大切だと思うのです。

与えられた餌をただ食べる家畜やペットではなく、自分に合つたように料理する！自分で探し出す！人間になつてほしいのです。

そうすることによって、格段に違いのある、おいしい料理を食べられるのではないかと思っているのです。

## いざ！実験を試してみる…

※ [ビデオ CD 1](#) [2](#) [3](#) 参照



**ビデオ CD の中では下の3種の塗料を比較実験しています。**

**水性塗料-----水で希釈する塗料**

**油性塗料-----シンナーで希釈する塗料**

**2液式塗料-----硬化剤と合わせて使用する塗料**

※注意！ 上記は皆さんにわかりやすいように表したもので、正式に示すとなると難解、複雑です。

尚、塗料のメーカーや種類によって実験結果は多かれ少なかれ異なってくると思います。  
今回の実験方法・実験結果の解釈に関しても私流なので、その点もご理解願います。

## 一液型塗料と二液型塗料

油性塗料には一液型と二液型があります。



一液型はシンナーの揮発による硬化や、  
空中の酸素に反応して硬化します。  
二液型は主剤と硬化剤が分かれており、  
混ぜることにより化学反応をおこして、  
硬化していき、一度混ぜると、硬化はと  
められません。



### 溶剤って？

文字から解釈すれば、文字のとおり溶かす剤。

水性の塗料を薄める場合は「水」を溶剤として希釈する。

油性の塗料を薄める場合は「石油系混合溶剤」(シンナー)を溶剤として希釈する。

という表し方、使い方をするのはないでしょうか？

※ 水といっても様々！シンナーといっても様々！（塗料それぞれの専用水や専用シンナーがあるので注意！です。）

### 今回の実験結果を元に考えてみる・・・

AIRBRUSHのハンドピースというものは、非常に細かい部品でつくられていて、繊細なものです。

そこに塗料が通っていくと考えれば自ずと、どんな塗料が向いているのかがわかるはず！

但し、ここで言うAIRBRUSHに向いている塗料というのは扱いやすい塗料ということであって、その他のこともいろいろと考えれば、解釈、選択等も変わってくるので絶対ではありません。

結局、塗料それぞれに特徴があるので、その特徴を活かした使用をすればいいわけです。

例えて言えば、水性塗料は臭いが少なくて書が少ない点が利点。

反面、他の塗料と比べればこんな欠点はあるが、この対象物やこの環境を考えればこの塗料とか・・・。

**万能という塗料はこの世に存在しない！用途や目的に合わせて使用する！という意味が、少しはわかっていただけただけでしょうか？**

## TOTAL-Tは10分で龍を描ける？

※  [ビデオ CD 参照](#)

結果は・・・

思ったように上手く描けませんでした。ト・ホ・ホ・・・悔しいー。

でも、これが勉強！と私は思っています。

この経験や悔しさがバネとなって次につながるのです！

### 今回の絵の反省・・・

私は龍のことを理解していない！だから、もっと龍のことを勉強しなければいけない！

そうやって、たくさんのいろんな龍を描いていけば、きっと上手くなる！というふうに反省し、今後を考えました！

言い訳をすれば、時間が少なかったとか、元絵の選択が悪かったとか、他にもいろいろ上げられるのですが、言い訳にしかありません！それより、プラス思考で考え、反省点を上げて今後につなげていけばよい！と思うのです。皆さんもいろんな絵を描いて、プラス思考で勉強していきましょう！

●今回この絵を描くのに私が使用した道具の使用感をお伝えいたします。

### AIR コンプレッサー APC-005 (AIRTEX)

見た目は APC-007 や iwata の IS-925 と比べるとコンパクトでかわいい感じがします。

音は、多少高めでカチカチというような音がしますが、特別うるさい！といった感じはありません。

AIRレギュレーターが付属しているのですが、一体式ではないので、どこかに固定したくなりました。

ハンドピースホルダーにレギュレーターシート

(固定金具)を付けて使用すれば手元で圧力調整が出来てハンドピースも休ませることができるので、そういった組み合わせが良いと思います。

能力的にもますます！値段もリーズナブルなので皆さんにお勧めしてもいいかな？と思いました。

値段なりの差はそれぞれあると感じましたが、これといって特別な問題はありませんでした。



### ハンドピース HANSA (AIRTEX)

ダブルアクションタイプに見えて実はシングルアクションという変わったハンドピースですが、押して引くという操作ではなく、引くだけの操作！ペンのように持てるシングルアクションタイプです。

AIRTEXの方に、この点が改良されればいいのだが・・・と報告した点もありましたが、自動車で例えると運転が簡単なオートマチック車！これからはこういったハンドピースが流行ってくるのでは？という予感がいたしました。

今回使用した 381 は口径が 0.3 mm、口径が 0.2 mm の 281 を使えば、もっと細かな絵が描けると思います。



HANSA-381



HANSA-281

## 第6章 実験のコーナー2

### クリアーコートの実験をしました。

※ ビデオ CD  1  2  3 参照

缶スプレーのラッカークリアーと硬化剤と混ぜて使う2液式のクリアーとの比較実験です。

実験の様子はビデオ CD をご覧になって下さい。

#### 実験後の TOTAL-T からのコメント

やはり、実験はいいものです！

普段の仕事では失敗が出来ないので慎重になるのですが、実験となると思い切ったことが出来て、すごく勉強になります。

この実験で気がついたことを何点かお話をさせていただきます。

#### 缶スプレーについて・・・

私は昔、プラモデルなんかにかに缶スプレーで色を塗ったことがありましたが、決して上手くはいきませんでした。

しかし、今こうやって缶スプレーを使用してみると、上手くなっている！が第一印象です。

AIRBRUSH をやっていたら、知らず知らずのうちにスプレーする感覚が備わってくるものなのですね！色の特性とか塗るときの手加減は缶スプレーになってもさほど変わらないということがわかりました。

しかし、空気圧力やその他の調整が出来ないという点では缶スプレーは劣っていますね！

手頃という点で缶スプレーは優位ですが、やはり自分で色の調整をして自分のお気に入りのスプレーガンを使用し、自分の気に入った空気圧力でスプレーしたほうが良いと感じました。

コスト的にみても、いつもやるのであれば缶スプレーは×だと思います。

#### クリアー塗装時のガンの選択について・・・

今回使用した、ハンドピースの口径は 0.3 mm ですが、多少無理があると感じました。

私が普段使用するクリアーは硬化剤と混ぜて使う2液式のクリアーで基本的には無希釈。

シンナーで薄めれば、小さな口径のハンドピースにも通りやすいのですが、シンナーを混ぜることで肉痩せや艶引き、下の色を犯してしまうといったような事も起きやすいので、あまり希釈はしないようにしています。

携帯電話などにクリアーを塗る時は、電話の押しボタンがクリアーの厚みのせいで戻らなくなることもあるので、わざと口径の小さいガンを使い、希釈もして厚みをつけないようにすることもあります。クリアーコートとは下の色を保護し、艶を上げるというのが一般的な考えだと思います。

それを考えると、クリアーの原液でもスムーズに通るような口径のガンを使用して、塗装すれば良いと思います。小口径のガンはパターン幅も狭いので、ムラ無く塗るには不向きということも頭におく必要があります。

## ラッカークリアーと2液式クリアーの比較

### 艶・・・

今回の実験結果では、艶の出かたはほとんど変わりありませんでした。

### 強さ・・・

シンナーで仕上がったクリアー面を少し拭いてみたのですが・・・

その点では2液式のほうが優位！ラッカークリアーの方が早くシンナーで溶けだしたのに対し、硬化剤と合わせて使う2液式の方はなかなか溶けない感じでした。

バイクタンクを想像してみるとわかりやすいと思うのですが、もしもガソリンがタンクまわりにこぼれたとしたら・・・2液式の方が良いと思いませんか？ 弱い塗装であれば艶が無くなったり、塗装がガソリンに犯されてしまいますが、2液式であれば多少のガソリンのこぼれぐらいには耐えてくれるのではないのでしょうか？

#### シンナーといっても種類様々！

塗料シンナー、ラッカーシンナー、速乾（冬用）、遅乾（夏用）、標準（春・秋用）etc.

各シンナーの揮発性・溶解力、その他特徴もいろいろあって多種多様です。

少しずつ皆さんに、使い分け等を教えていければと思っています。

### 硬さ・・・

今回は実験しませんでしたでしたが、塗料の硬度ということも頭にいられておくといいです。

塗装面の硬さというものがそれぞれにあるもので、その塗装の硬さがあればあるほど傷がつきにくいということになっていきます。

しかし、硬いと逆に割れやすくなるという考えも出てきます。

柔軟性を持たせたい場合は硬い塗料ではなく、柔軟性を持つ塗料が必要となります。

一般的には硬化剤の配合割合が多い塗料ほど硬くなると思うのですが、それも機会があれば実験しようと思っています！

**皆さんも、塗料というものを研究してみたいかかでしょうか？**

**研究心はいつも持っていたほうがよいと思います！**

## 第7章 お勉強のコーナー

### 色のお勉強をしましょう！

※  [ビデオ CD 参照](#)



プリンターの中に入っている色は？

**CYAN(青)・・・シアン**

**MAGENTA(赤)・・・マゼンタ**

**YELLOW(黄)・・・イエロー**

これに **BLACK (黒)・・・ブラック**のインクが加わって紙に印刷されていくわけです。

**白 (WHITE)・・・ホワイト**が無いのは、紙の色が白だからです。

プリンターで印刷された、白の部分は色が付いていない部分、紙の色が残された部分なのです。

※ こまかく言うと、赤＝マゼンタではなく、赤は黄が混じった黄赤で、マゼンタは紫がかった赤です。

※ 一般的に青と呼ばれている色は微妙に紫がかった青で、本当の青（シアン）は空のような青色が本来だと思います。

## ピンク色は？



上の桃レンジャーのピンク色（桃色）のことを考えてみましょう！

上のピンク色は印刷なのでマゼンタ（赤）と紙の色 WHITE(白)とのブレンドです。

もしも紙の色が他の色であれば、その紙の色とのブレンド具合で色が決まってきます。

もしも、AIRBRUSH で黒色の車に上のような桃レンジャーを描くとするなら白と赤を合わせて作ったピンク色を使用して桃レンジャーにする場合と、白をいったん吹き付けてその上からうすく希釈された赤をフワーッと吹き付けて桃レンジャーにする場合があります。前者は白っぽく見えて、後者は鮮やかなピンク色になるはずで。

下の色を活かして絵を描けるのがエアブラシの特徴なので、作った色そのもので塗りつぶすといったことはあまりしません。

一般に使われているパソコンのプリンターもインクのジェットで印刷するから“インクジェットプリンター”と呼ばれていて、要はインクの霧で印刷されているので AIRBRUSH と良く似ています。

下の色を活かすという点では両者似ているのですが、AIRBRUSH との違いを言うとするなら、縦・横・斜め・あらゆる方向、あらゆる順序で色が吹き付けられていくのが AIRBRUSH、左右に往復運動するインクカートリッジに応じて紙が送られていくのがインクジェットプリンターです。

機械的に動くプリンターとは違って、AIR BRUSH で描かれる絵には、人間が描く味、温かみがあると思います。

PS：AIRBRUSH では白が結構重要な色となってきます。

もちろん黒も大切です！

なんかスゴイことを教えてしまったような・・・



## 第8章 知ってもソンしないコラム

### 完全フリーハンドで描いている AIRBRUSH ペインターは意外に少ない

そうなんです！完全フリーハンドで描いている AIRBRUSH ペインターは意外に少ないのです。

なぜ、そんなこと知っているの？他の人の描いているところを見たことあるの？と疑問に思うかもしれませんが、私にはわかります・・・。

よく、ホームページ上で絵が仕上がるまでの途中経過みたいなものが公開されていますが、その作業の進め方をみるとわかっちゃうんです！

本来の AIRBRUSH の特徴を 100 パーセント活かした描き方で絵を描くとすると、最初はボケボケ、ボワボワ状態から始まり、描き込んでいけばいくほど徐々に絵が浮き出てくるはずなのですが、作業の前半から目やアウトラインが出ていたとすれば、それは下書き有りの絵！すなわち完全フリーハンドで描かれた絵ではなく、何らかの方法を使い、目の位置やアウトラインを最初にとっている絵なのです。

下書きをしようが、どんな方法をとろうが、最終的に絵が人から認められれば、立派な絵！人から認められなかったとしても、その人自身で満足のいけた絵なら何の問題もありません。

絵の世界にはルールは存在しない！描き方がどうであろうと、結果がどうであろうと自由な世界と私は思っています。

出来るのなら、ラッセンが描いた絵のように、人から喜ばれるような絵、人に感動を与えられるような絵を描きたいと日々思っておりますが、なかなか・・・。

でも、数年前にラッセンの原画展に行き、その原画を目の前で見た時、可能性はあると思ったのです。

なぜかという、ラッセンの描いた絵に思いっきりマスキングをした跡を発見したからなのです。

コンパスカッターみたいなものでザクッとやった跡がはっきり確認できたのです。

AIRBRUSH だけで描かれたものと思っていたのですが、そうではなく油絵との複合のような感じの絵でした。

非常にきれいでしたが、技術的には十分いける範囲、もっと勉強をしてセンスを磨けば自分にも出来るんじゃないか？売れるか売れないかは別としてこのような絵は自分にも十分描けると思ったのです。

あの日は、絵の描き方ややり方は自由なんだと初めて気がついた日と同時に、光がキラリと見えた日でもありました。

それなら、竹島さんは下書きをしているの？マスキングをしているの？フリーハンドが良いと前の号で言ったじゃない！と思われるでしょう。

一昔前まで、私は下書きをして絵を描いていましたが、現在はほとんど無し！

AIRBRUSH 本来の特徴をフルに活かして描くように努力しています。

AIRBRUSH の持つ力を最大限に引き出せたなら、きっと芽が出てくると信じてがんばっているところです。

その特徴を活かした描き方については、また次号以降で徐々に教えていこうと思っております。

ここで皆さんに伝えたいことは・・・AIRBRUSH をせっかく手にするのなら、その AIRBRUSH の特徴を最大限に活かそうよ！

ただ、塗り絵のようなことをしていてもすぐに飽きてしまうよ！ AIRBRUSH は実は“魔法の筆”なんだ！その“魔法の筆”をうまく使いこなせたら、おもしろいほど上手な絵が描けちゃうんだよ！と皆さんに言いたいのです。

この話が今はチンプンカンプンでも、この本を続けて読んでいけばきっとそのうちにわかってくるはずだと思います。

今言ったことの意味をもし理解できるのであれば、あなたはスゴイ人です（笑）。

## 弟子の独り言…

こんにちわ。

早くも3回めですね。未だに批判の言葉がないのが不思議です；  
むしろ、がんばってくださいとエールをもらってとても感謝しています。  
だけど今回もやっぱり“独り言”です

最近ですね、妙に塗装がおもしろいんです。ここにAIRBRUSHを極めに来たのに思わず、脱線しちゃいそうになるほどね・・・うん、ちょっと言い過ぎた。

でも、実際に全く別物でもないですね。やっぱり絵と塗装は別だと思いますが、色に関してはほぼ同じだと思います。いってる意味がわかりにくいと思いますが実際にやっていくと同じだっていうことにききますよ、きっと。

少なくとも僕は共通する部分がたくさんあると思います。

特に、シンナーで塗料をかなり薄めて絵を描くって何回か親方がCDのほうで言ってましたけどそうすると塗料の乗り方がすごい繊細なんですよ。下に強い色入れたからなかなかそれが消えなくて汚い絵になったこともあります・・・。逆に言えばそれぐらい繊細な色使いをしなくちゃ出せない色があるってことです。

あ、前回に空き缶にアートしたときに白は隠ぺい性の強い色だからって言って混ぜましたよね。

隠ぺい性の強い・・・つまり下の色を殺す色（殺しやすい色）

だからあの時は、下の色が透けてほしくなかったから使いましたよね。

まあその話はおいといて、そう、やっていくうちにどの色が強い色で、どの色が弱い色ってのが、解ってくるんですよ。

あっ、ここにこんな強い色を入れたら次の色が生きないな、とか、

ああ、抑えるつもりが色入れすぎたーとか

口で、言われるよりこの微妙な加減は体で覚えるものじゃないかなと・・・

もちろん知識あつての実践が一番いいとは思いますが。ホントは、僕もまだまだ勉強中だし、知識ばかり増えて実践不足ですし・・・。

この文だけ見ると、ただ難しくて面白くなさそうですが、この奥深さがおもしろいんです。

ほんとはほんとは僕ももっと上手く描けるようになりたいんです、うまく塗れるようになりたいんです。いろいろな塗装もしたいんです。木目塗装や、ピンストいろいろなことが出来るようになりたいですよ・・・キーボード打つのばっか早くなってねえ・・・

でも昔から、よくいわれてきたっけな、『お前は、なんにでも手を出しすぎだ、物事には順序ってのがあるんだ、お前の場合1からいきなり10までいこうとしてる！1の次は2だろ〜』って

この言葉が身にしみてわかるきょうこのごろです；

海前

最後にホームページの購読者専用掲示板で愛車の写真と彼女の写真をのっけてくれてっていう書き込みにあっさり OK しましたがごめんなさい・・・

の代わりにホームページの何処かに載せましたので・・・

なお行き方は・・・秘密です。でも、よくさがせばきっとあります。

## この本と共に勉強していきたい方のための道具選び

これから AIRBRUSH を始めようとする購読者のみなさんへ  
私がお勧めする道具等を紹介していきます。  
私が発験をもとに厳選したもので、  
安心してご使用できることと思います。  
ほしいものがあればご購入ください！  
その道具を使いながら、私と一緒に勉強していきましょう！  
購入しなくても、いっごうにかまいません。  
参考にするだけでもいいと思います。  
道具は財布と相談しながら、少しずつ揃えていけばいいと思います。  
この本と共に勉強していくために、  
必要なものを少しずつ紹介していきます。  
よけいなものは紹介しませんので、ご安心ください。



## TOOL コーナーをリニューアル！

Vol.01 と Vol.02 を購読された方々から道具の注文が殺到！！

道具の注文がこんなにくるとは思っておらず、正直ビックリしております。

本の購読者が増えることはもちろんですが、道具の購入までしてもらえると、益々教えることに力が入ってまいりました！皆さんの意見や要望に耳を傾けながら、いつかは皆さんのためのスペシャルハンドピースでも出来ないかと夢を膨らませております(笑)。

今回は申し込みをしやすくしたつもりなのですが、わかりにくい点もまだまだ残っていると思います。

徐々にですが、内容を充実させていく予定ですので、これからも宜しくお願い致します！

皆様からのご意見お待ちしております。

### 購入を希望される方は・・・

※付属のビデオ CD から購読者専用ページに入れるようになっています。

**購読者専用ページ**→**TOOL コーナー**よりお申し込み下さい。

道具に関してのご質問やご要望などありましたら、遠慮なくお申し付けください！

PS：今回より“道具申し込みフォーム”から“TOOL コーナー”に名前を変更させていただきました。

## ビデオ CD&オマケについて…

ビデオ CD&オマケも付けちゃいました！

**今回のビデオ CD の収録時間は、なんと 2 時間！  
こんなに付けちゃっていいの？安すぎない？と思うほどです。**



Vol.03 のビデオ CD は前回よりもさらにパワーUP！前回よりも更に収録時間が長くなっています。  
カメラの前で、こんなにおしゃべりする TOTAL-T が恥ずかしくなるくらいのしゃべり様！  
このビデオ CD を見て、勉強して下さい！楽しんでください！笑って下さい！

今回のオマケはアクリル板にカットを施したものを付けさせて頂きました。  
こういったような型を活用するのもひとつの手だと思います。  
今回は練習用、勉強用として付けたのですが…  
何かのヒントになれば…と思っています。  
いろいろ、楽しみながら勉強する！という気持ちが大切だと思います。  
是非、このオマケと遊んでやって下さい！

CD の見方は…

CD をパソコンに入れると、自動的にインターネットエクスプローラが立ち上がるはずですが。  
あとはメニューの中身を見るだけです。

うまく見られない場合は CD の中身をエクスプローラ等で表示させ、  
一つ一つのデータをクリックしてみてください。それでも見られない場合は諦めるか、パソコンのことを知っている方に相談してみてください。  
私はパソコンを使えますが、深いところまでよく知らないのです。最近  
は甥っ子の中学生によくお世話になっている状態です。マッキントッシュのパソコンでは見られないかもしれませんのでその点はご了承下さい。



## 編集後記

“TOTAL-Tが教えるHOW TO AIRBRUSH VOL.03” いかがでしたか？

TOTAL-Tとしては内容充実のVol.03の発行であります。

いろいろ言い過ぎて、話がややこしくなったかな？と少し心配しているくらいです。

そろそろVol.12のことを考えながらやらなきゃいけない！と早くも年末の号のことを考えています。

というのも、教えるネタがありすぎてどれに重点をおいて教えていこうかと迷ってきたのです。

購読者の皆さんそれぞれに目標や目的が少しずつ違うと思うので、どんな方に合わせていくか？ということなのです。

すべてを教えていると足りなくなってくるし、でもある程度は全般的に教えたいし・・・と。

このことについても皆様からのご意見を聞きながら進めてまいりたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

遠慮なく、ご意見・ご要望等を [当ホームページ](#)→[BOOK](#)→[購読者専用掲示板](#)にてお伝え下さい。

### 次回 HOW TO AIRBRUSH VOL.04 は・・・

次回のVol.04の内容ですが、今のところほとんどが未定です。

しかしVol.012の頃には、自分の好きな絵を描いて楽しんでくれている姿や、バイクのタンクやヘルメット、車、その他様々な物に楽しげにペイントしてくれている皆さんの姿をイメージして本作りをしていますので、それに向けての第4号（Vol.04）だと思っています。

皆さんに伝えたいこと、教えたいことはまだまだたくさんあるので、楽しみに（覚悟！笑）してして下さい。

ハンドピースを購入して下さった方に付けているCDの画像の一部もVol.04・Vol.05にて連続で入れる予定です。

それと、私が主役ではなく、皆さんが主役としてこの本が成り立っているのです、皆さんからの声が必要なカギとなってきます。

この本は皆さんと一緒に学んでいく本、考えていく本、楽しんでいく本です！皆さんからの声をお待ちしております。

宜しくお願い致します！

### 本の予約について・・・

この本は、AIRBRUSHをTOTAL-Tと一緒に学ぶ本、考える本、楽しむ本として、毎月月末に発行する手作りの本です。手作りのため、さきがけての予約をとらせていただいております。

現在のところ2003年VOL.12号までの購読予約を受け付けています。

[当ホームページ](#)→[BOOK](#)→[購読申込フォーム](#) よりご予約ください。

自分の予約状況を知りたい場合や予約を解除したい場合はメール等でお問い合わせください。

尚、携帯電話からでも当ホームページ <http://total-t.com>

にアクセスしていただければ購読予約ができるようになっていますのでご利用ください。

★AIRBRUSH PAINT & TOTAL-TECH★

# TOTAL-T

〒920-2104 石川県石川郡鶴来町月橋町 416-1

TEL 0761-93-9002 FAX 0761-93-5551

URL <http://total-t.com> Mail [toshi@total-t.com](mailto:toshi@total-t.com)

最後まで読んでいただきありがとうございました。